

秋の平和週間企画 アート展

へいわ
みえかた
Ⅱ

11.3[日]-11.17[日]

8:00~18:00 日曜日はミサのため10:30~12:30は非公開(ミサ参加可)

小郡カトリック教会

住所: 小郡市小郡636-1 電話: 0942-72-3256

参加作家名	プロフィール	コメント	
一ノ宮佳邦	1989年 個展：「Face to Face」ギャラリー・オカベ（以後 '91 '93 - 東京） 1993年 個展：ギャラリー・とわーる（以後 '96-'01、'04-'13、'15-'17 - 福岡市） 2005年 個展：ギャラリー・58（以後 '10、'12、'14、'16、'19 - 東京） 2016年 グループ展：'55 '59 '74 '81 +（大川市清力美術館） その他 個展、グループ展等で発表	私の関心はキャンバス上のマチエールや、色と色の相互作用のあいだで起きていることと、同時に私の心の中で起きていることを捉えることです。	
加藤 恵	2000年 九州産業大学大学院芸術研究科美術専攻修了（芸術学修士） 2002 - 2019年 日本版画協会展 2016年 Asian Link International Exhibition(中国) 2017年 Contemporary Japanese Printmakers Invitational 2017(アメリカ)	日々の生活の中で感じる一瞬の間、小さく深呼吸した時に起こる心の中の静寂な時間を銅版画特有の線や点を用いて表現をしています。	
高田麻衣子	2000年 九州産業大学芸術学部美術科絵画卒業 2000年 - 2003年 3号倉庫第1期生 2001年 第16回ホルベインスカラシップ奨学者 2003年 福北美術往来展などの企画や東京、福岡での個展やグループ展にてインスタレーションを主に展示。	日々の暮らしや自然の中で感じ取るものをインスタレーションや平面に再構成して、内なる世界を見える形へ表現しています。	
床田 明夫	1959年 福岡県生まれ 1986年 愛知県立芸術大学大学院修了 個展・グループ展など福岡中心に活動 近年ギャラリー以外に教会、病院、お寺、神社などでも展示を行っています。	あのとき ああでなければ いまのわたしは いない。	
浜地 彰子	1997年 武蔵野美術大学短期大学部 専攻科修了 2013年 - 糸編みアクセサリブランド「あおいろ。」をスタート 2018年 個展「あおいろ。の世界」 2018年 へいわ・みえかた 秋の平和週間企画 アート展など	季節を感じる空気・温度・湿度・色・光など日常にあるモノトンをモチーフに制作しています。作品は私が積み重ねて来た記憶のかたち。私の記憶と誰かの大切な思い出や記憶が交わって繋がって対話が出来たら嬉しいです。	
浜地 孝史	福岡市生まれ。 西日本工業大学デザイン学部准教授。 2000年 東京藝術大学修士課程修了 デザインとアートの領域を横断しながら、視覚によるコミュニケーションの可能性を模索している。	今回出品する作品のタイトルは「こころのかたち」です。人々のこころの中は目で見ることではできないけれど、想像して、互いに尊重し協力するところを持たれば、日々平和なんだと思います。そんな願いを込めた作品です。	
樋口 英資	1965年 福岡県生まれ 1990年 東京藝術大学油画専攻卒業 主な個展 ギャラリー風（2001,11年）、ギャラリーとわーる（2012,17,18年）、 ギャラリー58（2012,16,18年）、大川市立清力美術館（2019年）、他グループ展多数。	たとえ抽象的であってもそれが最良の絵画であれば、その中にチマブーエもルブリヨフも息づいているということです。またそれが画家としての目標でもあります。	
松尾 雄一	2002年 日韓交流 IMPACT 展（韓国） 2011年 アートバスケット（長崎県立美術館） 2012年 CONTEMPORARY ART 2012 Asian アートジャングル（福岡アジア美術館） 2015年 6/信覚寺（筑前町・信覚寺） 2016年 美つなぐ香椎宮（福岡市・香椎宮）	踏むという行為は、ふみにじり・さげすみ・冒瀆することなのか。あるいは、ふみしめることにより、より深く理解し、知ろうとする行為なのか。思いは自らの心のうちにある。	

秋の平和週間関連イベント

「白井朝香シター平和コンサート」

日 程：11月3日 15時～

場 所：小郡カトリック教会 [小郡市小郡 636-1]

問合先：0942-72-3256

海を渡る祈りの響き 2019

～シターと歌う平和祈念コンサート

11月3日(日) 15時

音楽は、国境や宗教、言葉の壁を超え、人々の心に平和と幸せをもたらします。

被爆75周年という節目の年を迎える国際平和都市広島から「祈りの楽器」シターの音色に、響きあう歌声に平和を希求する想いを込めて世界へ向けて発信したい。

このコンサートが、平和を願う心の種蒔きになることを願っております。

日時：2019年11月3日(日)

開場：14時30分(全席自由)

開演：15時

会場：小郡カトリック教会聖堂

小郡市小郡636-1 ☎0942-72-3256

入場料：自由献金 *被災地支援募金あり



出演 シター：白井朝香

ソプラノ：益田由身子 / バリトン：益田眞 (賛助出演)

■ 演奏曲目

アヴェマリア / サン=サーンス

マグダラのマリア / 13世紀コルトーナの聖歌

マリアへの祈り

アナムネーシス ほか / 新垣壬敏

Laudato si, mi Signore ラウダート シ (初演)

海を渡る祈りの響き / 木原宏寿 etc.

《海を渡る祈りの響き2019》は10月19日の東京オペラシティでの公演から始まり、広島、長崎でも公演されます。福岡での「Laudato si, mi Signore ラウダート シ」は初演で、作曲者も参加されます。ちなみに小郡教会のステンドグラスは同タイトルで作成されています。



白井 朝香 (シター)

広島在住のヴァイオリン・シター奏者。2009年世界平和記念聖堂での公演を機にシター奏者としてデビュー。「祈りの楽器」シターの音色と共に広島から平和への想いを伝える活動を開始。2010年光の響サロンをオープン、2012年シター教室を開設、後進の指導にもあたる一方、県立広島病院などでの音楽療法にも長年取り組んでいる。2013年ソロCD Hommage〜賛歌〜をリリース。宮島観光大使に任命され、世界遺産厳島神社にて奉納演奏、南仏マルセイユ、エクサンプロヴァンス、ヴェズレーにて公演。2014年ブサンにて韓日親善協会20周年記念公演 2015年は青少年国際未来会議ひろしま2015、国連軍縮会議レセプション、モンサンミッシェル、パリにて演奏。2017年には韓国大邱と広島の交流20周年、2018年にはハノーファーとの交流50周年記念公演にて演奏。被爆70年に鑑みてリリースしたCD「海を渡る祈りの響き」がANA国際線での機内オーディオに起用されるなど、国内外を問わず音楽を通じた活動の場を拡げている。昨年9月27日には鳥栖カトリック教会で演奏会を開いている。



益田 由身子 (ソプラノ)

エリザベト音楽大学声楽学科卒業。木原 朋子、ルチアノ・ベルタニョリオ各氏に師事。1987年から2012年までカント イタリアーノ公演にて、イタリアの歌曲やオペラアリア、またはクリスマス音楽を多数演奏。オペラフェスティバル広島に第1回公演から出演し、第6回「花つくり娘」では主役チェッキーナを演じる。現在、朋の会などに出演。また、世界平和記念聖堂パイプオルガン定期演奏会、聖母コーラス定期演奏会などで宗教曲のソリストを務める。2016年より『海を渡る祈りの響き』平和コンサートにてシターと共演。ノートルダム清心中・高等学校非常勤講師、同高等合唱部講師。



益田 眞 (バリトン)

広島修道大学卒業。在学中、同大学混声合唱団に所属し、常任指揮者であった池本寿嘉氏の指導を受ける。卒業後、声楽を内田陽一郎、ルチアノ・ベルタニョリオ各氏に師事。アミーチ・デル・カント、広島古楽集団、カント イタリアーノ、オペラフェスティバルなどに出演。現在、合唱団ラ・パス、Hiroshima Bach Soloistsに所属。

